◆一般投稿作品◆　　　広報委員会 選

談笑をおぼろに聞きつ午睡かな　明石 満子
梅雨晴れの陽光浴びて喫茶店　岡村 和躬
入梅(ついり)とや墨絵ぼかしの峡の朝　岡本 朴舟
連休に店で求めし　ダリヤ咲き　小野寺朱実
六月の風の中なる大夕陽　小原 子川
目の前を急降下して燕かな　北村千鶴子
良心市芍薬豪華桶に一品　高野 和一
夏草や塀を残せる家敷跡　千頭 野草
梅雨晴の七色弾む花菖蒲　西尾 玉喜
時鳥(ほととぎす)望郷しばし夕薄暮(はくぼ)　原 美幸
つつじ燃ゆ山寺九尺の火掻き棒　福留とものり
母子草理屈無きもの里心　森本 幸美
レース編む老の大作仕上がらず　山﨑 寿美
こころざし天まで届け立葵　山崎 貴子

◆かがみ野俳句会◆

母が母呼ぶ声愛し麦こがし　佐竹 洋子
山廃れ枝垂れ降りたり藤の花　鍵山 和枝
子燕の大口あけてこぼれそう　佐藤 幸
万願に若葉をゆらす千の風　利根 弘子
雨の庭四葩(よひら)の藍を深めつつ　古川 信子
登るほど近づく匂ひ花みかん　小松 愛子
句を作り手習ひ続けみどりの日　西内 保衛
あぢさゐや雨の小止みに毬太る　中澤 美晴
初取りの豆飯旨く二膳飯　森本 倢代
退院に素足の知るや畳の目　山﨑 鈴子
朝々の笑顔の力時計草　吉田 芳

◆韮　句　会◆

遠き日の母の匂ひや草いきれ　公文 春紀
園児らのはや引き返す梅雨晴間　岡本かほる
梅酒漬け女系家族の恙なし　北村 幸子
竹皮を脱ぎ捨ててあり寺のみち　西川 常夫
父の日のデパート父の似顔絵展　甲藤 卓雄
鐘撞いて男下りくる青嵐　野崎 典子
梅雨の蝶羽重たげにひばりの忌　北村 里子
坪庭の端に畝立て茄子を植う　明石 英子
木の枝に総身を渡し蛇構ふ　竹内 ろ草

◆かほく俳句会◆

箸置は白き川石夏料理　乾 真紀子
梅辣韮(らっきょう)漬けて山家の慣ひ終ふ　奥宮さとみ
くちなわの潜む気配や道細る　久保 貴女
袋掛風出る午前十一時　久保内鏡子
紫陽花や家族が囲む丸い卓　黒岩 幸女
松蝉や朝から懈(だる)き日の午報　黒岩千英子
麦秋や旅の終りの野を走る　杉山 春萌
時鳥行軍の夜に聞きし声　小松 隆之
新緑の命はぐくむ水の音　小松 完
前山に来て水恋鳥雨を乞ふ　小松 昇
ゆっくりと首の運動梅雨晴間　西本 昶猪
断ち切れぬ昭和の日数豆の飯　前田 欣一
夕されの空桃色に梅雨晴間　前田 秀女
田を植ゑて月ふかぶかと上りくる　間崎 和代
万緑の中遠き世の塩の道　森本 之子
蝮酒匂ひに負けてしまひけり　山崎かずみ
短夜や指の戸惑ふ電子辞書　山中 晶子
田蛙の一斉に止む不思議な夜　山中 瑞輝
街路樹に並ぶ勢ひの柿若葉　山中 明石

◆土佐山田町俳句会◆

紫陽花の衆道の彩見せにけり　橋本 昭和
遠雷のごろごろまろび喪に服す　前田 小夜
逃げ水を横切ってゆく黒い猫　前田美智子
着陸機の車輪確かめはざまつく　明石 韮生
合歓(ねむ)咲いている　繁藤忌の晩鐘　樫谷 雅道
辛子酢にちっぴりむせて心太(ところてん)　大石 邦男
渡船場の再会木槿(むくげ)が咲きました　安丸 槙子
沢蟹の住いが懸け樋生れ里　馬場 英男
ぬらり鯉動きて梅雨の池濁る　田村 一翠

俳句・短歌の投稿方法

▼投稿方法は自由。（ただし、ハガキで投稿の場合、一人一枚のハガキで5句（首）以内）
▼かい書で、住所、氏名、電話番号を必ず明記してください。
▼誌面の都合により掲載されない場合があります。

【投稿先】
企画課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係
〒782−8501
香美市土佐山田町宝町1−2−1
FAX53−5958

香美市立美術館

アートの窓

「第38回世界児童画展・四国展」

8月16日(土)〜9月15日(月・祝)

1970年に大阪で開かれた万国博覧会を機にスタートした世界児童画展は、今年で38回目を迎えます。高知展として当館での開催は13回目を迎えますが、今年は四国四県の入選作品に、全国の優秀作品、海外の優秀作品を加えて展示します。

この展覧会は子どもたちの、感性と理性の調和の取れた成長を願い、子どもたちが自らつくりだす造形文化の支援と、国境を超えて世界の人々をつなぐ国際相互理解を目的として開催されてきました。

今回は、高知の子どもたちだけでなく、香川・愛媛・徳島のそれぞれの子どもの生み出した、自由で生き生きとした作品がたくさん並びます。展示室には、

国内応募総数14万4372点の中から選ばれた760点と、海外25カ国応募総数5万900点の中から選ばれた91点を展示します。

子どもたちの発達段階に応じた伸びやかな作品や、海外の自然や生活環境の違いが反映された作品等、子どもたちだけでなく大人の方にも十分楽しんでいただける展覧会だと思います。

写真の作品は、読売新聞社賞を受賞した小松祐生さん(当時小学3年生)の、「いってらっしゃい最終便!」です。夕焼け空に向かって飛び立とうとするジェット機を、大きく力強く、美しい色彩で表しています。ジェット機の窓には、パイロットや乗客の顔が、飛行場の建物の屋上や窓には、見送る人たちが丁寧に描かれています。また、空のだいだい色と地面の緑色が呼応し、色彩の豊かさが際立っています。夕焼け空に浮かぶ雲も、夕日に染まり立体的に描かれ、ジェット機と共に存在感の強い、すばらしい作品となっています。

子どもたちの描く世界を、ご家族おそろいでお楽しみください。多くの皆さまのご来館をお待ちしております。

(館長・北　泰子)

吉井勇記念館のイベントのご案内

山峡の夕べ

〜月とヴァイオリン〜

9月14日の満月の夜、韮生の山峡に建つ記念館を訪れませんか。

当日は特別に夜間開館し、展示解説を行います。その後、古江佐和子氏によるヴァイオリンの演奏をお聴きいただきます。吉井勇の作詞した「ゴンドラの唄」をはじめ、皆さまのよく耳にする曲をお楽しみいただけます。

ぜひ、この機会に、ヴァイオリンの音色の中、吉井勇の過ごした静かな猪野々の夜を味わい、感じてください。

【日時】9月14日(日)
18時〜　館内展示解説
19時〜　ヴァイオリンコンサート

【場所】吉井勇記念館

【ヴァイオリン奏者】
古江佐和子氏
(5歳よりヴァイオリンをはじめる。故イレイン・リッチー女史に師事。ノースカロライナ州立芸術大学音楽科卒業。ウィンストンセーラム交響楽団、大阪シンフォニカーに所属。タチバナヴァイオリン教室、高知香南ジュニアオーケストラ講師。昨年より記念館にてコンサートを開催。香北町猪野々在住)

【参加料】
400円(入館料含む)

【送迎バス】定員20人
市役所発:17時20分
記念館発:20時10分

※バスを利用希望の方は9月10日(水)までにご連絡ください。

【問い合わせ先】
市立吉井勇記念館
☎58−2220

第3回 香美市芸術祭 作品募集

平成20年度芸術祭の作品を募集します。要項は次のとおりです。

《俳句会》

日　時　10月５日（日）　13時30分
場　所　市立中央公民館３階視聴覚室
作　品　１人５句以内（未発表作品に限る）
出句料　文化協会会員 500円
　　　　会員以外 1,000円
　　　　（※投稿時に納めてください）
締切日　９月12日（金）

《短歌会》

日　時　10月５日（日）　13時30分
場　所　市立中央公民館３階会議室
作　品　１人２首以内（未発表作品に限る）
出句料　文化協会会員 500円
　　　　会員以外 1,000円
　　　　（※投稿時に納めてください）
締切日　９月12日（金）

《文化展》

期　間　11月１日（土）～２日（日）
会　場　市立中央公民館
作　品　絵画(50号以下)
　　　　書道（表装または仮表装）
　　　　手工芸など
　　　　※写真は写真審査会へ出品ください
申込方法　所定の用紙に必要事項を記入
出品料　文化協会会員 500円
　　　　会員以外 1,000円
　　　　（※申込時に納めてください）
締切日　９月12日（金）
搬入日　10月31日（金）9時～17時

《写真審査会》

日　時　10月８日（水）
　　　　搬入・受付：９時～19時
　　　　審査：19時～
場　所　市立中央公民館３階会議室
出品料　文化協会会員 500円
　　　　会員以外 1,000円
テーマ　自由（未発表作品に限る）
サイズ　４つ切りから全倍まで
　　　　枠張り（裏面に住所・氏名・題名を記入）

《発表会》

芸能大会

【物部会場】
日　時　10月19日（日）12時開演
場　所　奥物部ふれあいプラザ

【山田会場】
日　時　11月23日（日）12時開演
場　所　市立中央公民館大ホール

社交ダンス発表会

日　時　11月９日（日）18時開演
場　所　市立中央公民館大ホール

土佐山田町合唱団定期演奏会

日　時　11月16日（日）14時開演
場　所　市立中央公民館大ホール

※俳句会および短歌会の出句料には、文化展への出品料も含まれています。

【俳句会・短歌会・文化展作品申込先】
香美市土佐山田町岩積３６５－１
香美市芸術祭実行委員会事務局（教育委員会生涯学習課内）☎ ５３－１０８２
教育委員会香北分室　☎ ５９－２３１２
教育委員会物部分室　☎ ５８－３１１８
※９月10日（水）～12日（金）は中央公民館でも受付します。